



ちいき・みんなのつどい「盆踊りのお囃子に挑戦しよう」

なかの PTCA 木村 慶三様、佐藤 嘉裕様、菅野 敦様を講師にお迎えして、ちいき・みんなのつどいを実施することができました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、夏に実施されるはずであった「ほたるのつどい」が中止になってしまい、子どもたち、保護者の皆様、地域の方々もがっかりされていたことと思います。

「伝統をつなぐ」というコンセプトを御理解いただき、このような時間を作ってくださった講師の方々。話を聞きながら「自分も中野の地域の一員であること」や「伝統をつないできてくれた方々のお陰で今があること」に気づくことができた子どもたち。

「今度は、自分たちが伝統をつないでいくんだ」という意欲が子どもたちの感想からも読み取れました。

地域の素晴らしい方々とかかわることで、中野のよさをよりよく理解できるとともに、子どもたちが地域の一員として確実に育っていけるよう、今後も教育活動を進めていきたいと思います。



個別懇談会お世話になりました

11月26日(木)～30日(月)に実施されました個別懇談会では大変お世話になりました。年末のお仕事がお忙しい中、時間を調整いただきありがとうございました。

お子さんについて、担任と有意義な話をすることができましたでしょうか。

家庭と学校がお子さんのことについて共有しなければならないキーワードの一つとして、「前向きな自分」ということがあげられるかと思えます。

キャリア教育の考え方の中に次のような考え方があります。

自分の将来への夢や希望をもつことで、子どもたちは「前向きな自分」に変わり、自分自身を

より高め、向上心をもって学習に取り組む姿勢が育まれる。

子どもたちをあせらせる必要はありませんが、子どもたちが前向きに生きられるように、関わる私たち大人が1つ1つの言葉を考え、夢や希望をもてるようにしていかなければならないのだと思います。

言葉は、温もりになる反面、時にして刃物になってしまう時があるからです。

子どもたちの未来のためのよきパートナーとして、今後ともよろしく願っています。

【校長のつぶやき】

- 佐藤 龍侍(さとう りゅうじ)君は、難しいお囃子の曲をあきらめることなく繰り返し練習していました。校内マラソン大会の時もそうでしたが、絶対にあきらめない強い心の持ち主です。

